

令和 7 年 度

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 3 1 日

業 務 報 告 書

石 川 県 農 業 共 済 組 合

事業報告書

令和7年度（令和7年4月1日から令和8年3月31日）

（1）農作物共済関係

（引 受）

年産	共済目的	組合員数	引受面積	共 済 金 額	徴 収 共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手 持 共済掛金 (A) ± (B)
		人	a	円	円	円	円
令和 7 年産	水 稲	5,663	1,188,485.2	8,961,774,788	2,765,777		
	麦	81	54,423.9	175,013,601	1,510,412		
	計	延 5,744	1,242,909.1	9,136,788,389	4,276,189	2,866,027	7,142,216
		実 5,715					
令和 8 年産	麦	69	41,185.2	147,995,895	1,235,187		
	計	69	41,185.2	147,995,895	1,235,187	153,322	1,388,509

注）引受変更に伴う令和7年産麦掛金の追徴額 4,761円は令和7年度農作物共済掛金に含まれる。

引受面積：前年度対比 水稲 97.1% 7年産麦 85.5% 8年産麦 75.7%

引受面積：事業計画対比 水稲 105.3% 7年産麦 94.3% 8年産麦 75.0%

（被 害）

年産	共済目的	被 害 組 合 員 数	共 済 金	共 済 金 共済金額
		人	円	%
令和 7 年産	水 稲	233	27,336,255	0.31
	麦	40	7,667,639	4.38
	計	延 273	35,003,894	0.38

（被害概況）

ア 水稲

少雨により干害（干ばつ）が発生した。
海岸沿いの圃場では用水から海水の逆流による塩害が発生した。
少雨によりため池の水量減による生育不良が見られた。
イノシシ及びサルによる圃場内への侵入および食害が発生した。
豪雨により、浸水・冠水及び土砂の流入による埋没が発生した。
隣接する建物から出火し、類焼が発生した。

イ 麦

播種後の降雨により、土壌過湿状態による発芽不良や生育不良が発生した。
シカによる食害が発生した。

(支 払)

共済目的	支払月日	実支払 共済金	共済金支払財源					実支払 共済金 共済金
			保 険 金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	
水 稻	12月4日 3月30日	円 27,336,255	円 /	円 5,419,060	円 /	円 /	円 /	円 100.0
麦	12月4日	7,667,639		1,723,156				100.0
計	/	35,003,894	0	7,142,216	27,861,678	0	0	100.0

「農林統計作況単収指数（令和7年産水稻）」

9月25日現在 507kg （加賀529kg、能登474kg）

12月12日公表 507kg （加賀529kg、能登474kg）

(評価事項)

ア 水稻

N O S A I 部長との連絡や関係機関との情報交換及び担当職員の現地見回りにより被害状況の把握に努めた。

半相殺方式については、農家申告抜取調査を実施した。農家申告抜取調査は、実測の方法で実施し評価の適正を期した。

全相殺方式及び品質方式については、見回り調査を行い、各出荷団体より出荷数量の提出を受け出荷数量等調査を実施した。

イ 麦

関係機関や生産者団体との情報交換及び担当職員の現地見回りにより被害状況の把握に努めた。

全相殺方式及び災害収入共済方式については、見回り調査を行い、各出荷団体より出荷数量の提供を受け出荷数量等調査を実施した。

(損害防止)

ア 水稻

適期・適切な防除を普及徹底させるため、病虫害等の発生予察情報を把握するとともに、関係機関と連携し、N O S A I 部長及び組合員に情報を提供した。

鳥獣害等による被害を未然に防止し、地域の生産活動の安定に資することを目的に設置された協議会に対し、その損害防止等に要する経費の一部を助成した。

損害防止に要する機器を購入した経費の一部を助成した。

水稻の安全生産と病虫害の未然防止のため、損害防止機器の貸出を行った。

N O S A I 独自の気象観測機器を県内に4か所設置し、気温・葉濡れ・雨量・風速・土壌水分・日照を観測し、いもち病の発生予想による損害防止や積算温度による刈取り適期等の情報を、インターネットを通じ農家向けに提供した。

イ 麦

麦の安全生産と病虫害の未然防止のため、損害防止機器の貸出を行った。

損害防止に要する機器を購入した経費の一部を助成した。

(2) 家畜共済関係
(引 受)

項 目		組合員数	有資格頭数	事業計画頭数	引受頭数	引受頭数/事業計画頭数	共 済 金 額	徴 収 共済掛金	納 入 保険料	交付金	手 持 共済掛金
区 分											
死亡 廃用 共済	搾 乳 牛	人 21	頭 1,943	頭 2,184	頭 2,265	% 103.71	円 204,271,150	円 6,381,277	円	円	円
	育 成 乳 牛	22	796	1,220	1,090	89.34	74,326,850	222,010			
	子牛等			(129)	(100)						
	繁殖用雌牛	15	334	328	300	91.46	67,091,850	416,450			
	育 成 ・ 肥 育 牛	27	2,794	2,013	1,846	91.70	316,374,800	4,102,836			
	子牛等			(400)	(278)						
	種 豚	3	1,553	936	1,034	110.47	45,476,400	6,275			
	肉 豚	3	12,598	4,920	4,841	98.39	53,155,600	12,439			
	計	91	20,018	11,601	11,376	98.06	760,696,650	11,141,287			
疾病 傷害 共済	乳 用 牛	24	2,739	2,552	2,426	95.06	24,808,630	8,847,040	円	円	円
	子牛等			(123)	(78)						
	肉 用 牛	33	3,128	1,809	1,750	96.74	13,215,295	3,301,133			
	子牛等			(238)	(247)						
	種 豚	-	1,553	-	-	-	-				
	計	57	7,420	4,361	4,176	95.76	38,023,925	12,148,173			

注) 期末調整による過年度引受分交付金の追加額 137,034円は上記交付金に含まない。
 期末調整による過年度引受分交付金の返還額2,425,796円は上記交付金に含まない。
 期末調整による過年度引受分掛金の追徴額 471,364円は上記徴収共済掛金に含まない。

(事 故)
死亡廃用共済

区 分	項 目	死亡 頭数	廃用 頭数	計	支払共済金
	搾 乳 牛	頭 76	頭 87	頭 163	円 9,696,515
	育 成 乳 牛	24	4	28	400,692
	子牛等				
	繁殖用雌牛	6	7	13	1,691,672
	育 成 ・ 肥 育 牛	103	4	107	5,328,322
	子牛等				
	種 豚	-	-	-	-
	肉 豚	-	-	-	-
	計	209	102	311	17,117,201

疾病傷害共済

区 分	項 目	件数	支払共済金
	乳 用 牛	件 3,215	円
	子牛等	(96)	20,896,856
	肉 用 牛	902	7,976,723
	子牛等	(493)	
	種 豚	-	-
	計	4,117	28,873,579

注) 引受終了による過年度引受の当年度共済金1,862円は上記支払共済金に含まない。

(事故発生の概況)

[死亡廃用共済事故]

前年度対比で見ると、全体では事故頭数は37頭の減、支払共済金5,230千円の減少であった。種豚・肉豚は事故除外引受であり、支払対象事故の発生はなかった。

前年度対比を病類別に見ると、新生児異常(81頭で17頭増)、消化器病(47頭で35頭減)等が主な増減であった。

[疾病傷害共済事故]

前年度対比で見ると、全体では743件の減、支払共済金2074千円の減少であった。

前年度対比を病類別に見ると、呼吸器病(477件で154件増)、生殖器病(2,079件で830件減)等が主な増減であった。

(損害防止)

実 施 種 目		対象頭数又は回数	経 費	摘 要
特定損害防止事業		頭 (回)	円	事業の安定と事故低減並びに組合員の負担低減を図ることを目的として、乳房炎・繁殖障害に限定して実施した。特に費用対効果を鑑み、乳房炎の発生頻度の高い組合員を主体に、事業のすべてを組合家畜診療所で実施した。
		対象頭数 296	1,458,290	
		検査頭数 312		
		処置頭数 63		
		指導頭数 107		
一般損害防止事業	削蹄事業	実頭数 3,018	826,582	組合員が組合の指示に基づいて行う削蹄に要した費用の一部助成した。
	栄養障害等防止事業	5,216	280,920	主として消化器病・代謝疾患における多発疾病に対して、栄養的側面から飼養管理指導を行い、薬剤の補助的応用により、その低減を図ることを目的として、事業のすべてを組合家畜診療所で実施した。
	家畜衛生管理事業	11,355	640,178	乳房炎を筆頭に多発している感染性疾患に対して、衛生管理指導を行い、ディッピング剤・消毒剤の応用により、その蔓延防止事故低減を図ることを目的として、事業のすべてを組合家畜診療所で実施した。
	多発疾病発生防止事業	3,275	396,586	乳用牛の多発疾病に対して、血液生化学的側面等からも要因を分析しそれに基づいて飼養管理指導を行い、その低減を図り、また死廃事故率が最も高い周産期病・運動器病に対して、飼養管理指導を行い、薬剤等の応用により、その低減を図ることを目的として、事業のすべてを組合家畜診療所で実施した。
	一般損害防止事業計		2,144,266	

(診療所)

職員数	管 内		診 療 件 数			主なその他診療外件数	
	有資格頭数	加入頭数	共済事故	事 故 外	計	人工授精	受精卵移植
人	頭	頭	件	件	件	件	件
4	7,420	15,552	1,174	1,471	2,645	228	186

(3) 果樹共済関係

(引 受)

年度	果樹区分	組合員数	引受面積	共済金額	徴収 共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持 共済掛金 (A)±(B)
		人	a	円	円	円	円
令和6年度	りんご					/	/
	ぶどう						
	なし	5	372.7	12,774,000	181,832		
	かき	37	873.2	9,336,000	270,581		
	くり	17	2,110.0	11,646,000	133,619		
	計	59	3,355.9	33,756,000	586,032	△ 120,353	465,679
令和7年度	りんご					/	/
	ぶどう						
	なし	2	206.4	10,411,000	192,892		
	かき	35	839.3	14,062,000	398,166		
	くり	15	1,648.0	8,874,000	143,659		
	計	52	2,693.7	33,347,000	734,717	△ 280,786	453,931

(事 故)

果樹区分	被害 組合員数	共 済 金	共済金 共済金額
	人	円	%
りんご	-	-	-
ぶどう	-	-	-
なし	2	95,350	0.9%
かき	8	677,250	8.2%
くり	4	856,850	9.7%
計	14	1,629,450	6.0%

(被害概況)

なし

【干害】梅雨期及び、梅雨明け後の7月中旬から8月上旬にかけての記録的な少雨により1類で小玉傾向となり、減収となった。

かき

【干害】

令和7年7月は、平年に比べ極端な少雨・長時間日照・高気温で推移したことにより、同月下旬頃から日焼け果が発生し、減収となった。

くり

【風水害】8月上旬から8月中旬の大雨の影響で地盤が緩み土砂崩れが発生し、園地までの道路が通行止めとなり、収穫ができず減収となった。

【病害】炭疽病が発生し、減収となった。

(損害評価の概況)

なし：職員による共済事故確認調査を行った。組合員は共同選果場に全量出荷しているため、出荷数量等調査を行った。

かき・くり：職員と損害評価会委員による評価班を編成し、農家申告採取調査（実測）及び果実重調査を行った。

(支 払)

果樹区分	支払月日	実支払 共済金	共済金支払財源					実支払 共済金 共済金
			保 険 金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	
		円	円	円	円	円	円	%
りんご	-	-	/	/	/	/	/	-
ぶどう	-	-						-
なし	12月25日	95,350						100.0
かき	2月18日	677,250						100.0
くり	12月25日	856,850						100.0
計	-	1,629,450	1,036,407	450,884	142,159	0	0	-

(損害防止)

- ・ 損害防止に要する機器を購入した経費の一部を助成した。

(4) 畑作物共済関係

(引 受)

項 目 共済目的	組合員数	引受面積	共済金額	徴 収 共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手 持 共済掛金 (A) ± (B)
	人	a	円	円	円	円
大 豆	49	29,172.6	79,607,470	3,618,596		
計	49	29,172.6	79,607,470	3,618,596	1,928,309	5,546,905

(被 害)

項 目 共済目的	組合員数	共 済 金	<u>共 済 金</u> 共済金額
	人	円	%
大 豆	31	11,232,162	14.1
計	31	11,232,162	14.1

(被害概況)

- ・ 土壌湿潤害 6月下旬、低気圧や梅雨前線の影響による大雨や断続的な降雨があり、県内全域で、水田作の水はけの悪い圃場において湿害が発生した。
- ・ 獣 害 6月下旬から7月上旬にかけて、一部地域でシカによる食害が発生した。
- ・ 干 害 7月上旬から8月上旬は、県内全域で記録的な高温・少雨となった。8月中下旬も引き続き高温・少雨で土壌は乾燥傾向で干害による落花・落莢及び子実肥大が抑制される等の生育不良が発生した。また、莢数及び稔実した子実が減少し、養分の子実転流不足により青立ちを助長した。
- ・ 虫 害 子実肥大期において、県内全域でカメムシ類の発生が非常に多くあった。防除を行っているが、子実肥大期後半までカメムシの圃場への侵入が見られ、吸汁による子実肥大阻害および吸汁粒による品質・等級低下をもたらした減収となった。

(損害評価の概況)

全相殺方式は、収穫期に共済事故の発生状況を確認するとともに、分割評価を行った。また、出荷先からの出荷数量等証明書により出荷量の調査を行った。

(支 払)

項 目 共済目的	支払月日	実支払 共済金	共済金支払財源				<u>実支払 共済金</u> 共済金
			保 険 金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	
		円	円	円	円	円	%
大 豆	3月30日	11,232,162	4,864,199	5,546,905	0	821,058	100.00
計		11,232,162	4,864,199	5,546,905	0	821,058	100.00

(損害防止)

損害防止に要する機器を購入した経費の一部を助成した。

(5) 園芸施設共済関係

(引 受)

項 目 施設区分		組合員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	徴 収 共済掛金	交付金	手 持 共済掛金
		人	棟	m	円	円	円	円	円
ガラス室	鉄 骨	35	74	23,764	292,995,567	234,094,752	172,646	161,234	333,880
プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス	パイプ	1,282	4,096	762,235	2,509,693,526	2,061,283,773	14,970,687	7,754,491	22,725,178
	鉄骨下	10	17	5,318	36,709,978	29,367,979	25,818	23,860	49,678
	鉄骨中(甲)	12	18	14,470	112,845,368	59,716,722	214,032	127,328	341,360
	鉄骨中(乙)	9	17	6,220	74,257,043	62,526,858	34,961	24,287	59,248
	鉄骨上	12	21	8,956	106,085,003	84,867,995	109,075	105,110	214,185
	雨よけ	11	31	23,529	48,765,195	39,012,148	201,143	167,683	368,826
	多目的ネット	1	1	6,285	2,344,521	1,875,616	11,486	11,152	22,638
合 計		(実1,083) 1,372	4,275	850,777	3,183,696,201	2,572,745,843	15,739,848	8,375,145	24,114,993

注) 引受変更に伴う過年度引受分交付金の返還額 1,758円は上記交付金に含まない。

(被 害)

項 目 施設区分		被 害			被害額	共 済 金							共 済 金
		組合員数	棟 数	附 帯 施設数		特 定 園芸施設	特定施設 復旧費用	附帯施設	附帯施設 復旧費用	施設内 農作物	撤去費用	合 計	共済金額
		人	棟	基	円	円	円	円	円	円	円	円	%
ガラス室	鉄 骨	3	3		112,052	89,640						89,640	0.0
プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス	パイプ	133	175		10,825,673	8,802,688				94,120		8,896,808	0.4
	鉄骨下	3	5		1,155,970	924,775						924,775	3.2
	鉄骨中(甲)	3	3		123,821	99,056						99,056	0.2
	鉄骨中(乙)	1	1		135,974	108,779						108,779	0.2
	鉄骨上	5	5		1,964,517	1,571,611						1,571,611	1.9
	雨よけ	1	1		28,703	22,962						22,962	0.1
	多目的ネット	-										0	0.0
合 計		(実133) 149	193	-	14,346,710	11,619,511	-	-	-	94,120	-	11,713,631	0.5

(被害概況)

[風 害] 低気圧の通過及び突風等による被害戸数133戸、事故棟数は168棟、支払共済金は8,348,858円である。
[雪 害] 被害戸数2戸、事故棟数は6棟、支払共済金は846,390円である。
[風 害] 寒波の襲来による被害戸数12戸、事故棟数は15棟で支払共済金は2,369,059円である。
[水 害] 大雨による冠水で施設内農作物の被害戸数は1戸、事故棟数は3棟、支払共済金は94,120円である。
[その他原因(車両の衝突)] 被害戸数は1戸、事故棟数は1棟、支払共済金は55,204円である。

(損害評価の概況)

災害後の現地の見回り・関係機関との連携により、被害状況を把握し、評価要領に基づき適正評価を行い、早期支払に努めた。

(支 払)

実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金
	保 険 金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	共 済 金
円	円	円	円	円	円	%
11,713,631	1,594,880	10,118,751	-	-	-	100.00

(損害防止)

関係機関と協力し病害虫防除の指導を行い、損害防止のために使用する補修テープを加入者に配布した。

(6) 任意共済関係
(6-1) 建物共済
(引 受)

共済種類	加入棟数	共 済 金 額	共 済 掛 金		1 棟当たり 平 均 共済金額	任意保険料	保険手数料	備 考
			純共済掛金	賦 課 金				
	棟	千円	円	円	千円	円	円	
総合共済	4,008	47,336,100	84,772,620	36,666,021	11,810	54,115,015	12,364,939	
火災共済	26,884	386,589,250	150,376,975	122,718,985	14,380	81,925,524	33,116,109	
計	30,892	433,925,350	235,149,595	159,385,006	14,047	136,040,539	45,481,048	

保険割合 30% 保険手数料割合 総合共済 30.50% 火災共済 40.50%

注) 自動継続特約による令和8年4月1日 着金額 7,600円は事業実績に含める。

注) 共済責任開始前に掛金返還の申し出があった返還額 3,800円は事業実績に含めない。

(事 故)

事故棟数	加入 総共済金額 (イ)	支 払 共 済 金 (ロ)			任意保険金	被 害 率 (ロ) / (イ)	備 考
		火災共済	総合共済	計			
棟	千円	円	円	円	円	%	
299	433,925,350	28,746,166	63,390,042	92,136,208	43,450,379	0.02	

注) 任意保険金には建物共済・全国連独自再保険金(地震・津波)11,292,578円を含む。

(原因別事故発生状況)

事 故 の 原 因	事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	任意保険金	被 害 率 (ロ) / (イ)	備 考
	棟	千円	円	円	%	
火 災	4		2,020,203	606,059		
落 雷	101		31,280,128	9,383,997		
外部からの落下等	15		864,019	259,200		
車両の飛び込み	14		2,502,881	750,860		
給排水設備	10		631,060	189,317		
盗難による汚損・毀損	4		108,657	32,596		
建物内部の車両衝突	7		729,462	218,837		
強 風	40		10,060,774	3,018,222		
大雨・豪雨	5		6,321,004	1,896,299		
暴 風 雨	2		401,149	120,344		
積 雪	57		14,631,708	4,389,496		
地 震	40		22,585,163	22,585,152		
計	299	433,925,350	92,136,208	43,450,379	0.02	

注) 任意保険金には建物共済・全国連独自再保険金(地震・津波)11,292,578円を含む。

(6-2) 農機具損害共済
(引 受)

	加入台数	共 済 金 額	共 済 掛 金		1 台当たり 平 均 共済金額
			純共済掛金	賦 課 金	
	台	千円	円	円	千円
計	3,361	13,386,340	38,203,556	22,872,901	3,983

(事 故)

事故の原因	事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被 害 率 (ロ) / (イ)
	台	千円	円	%
火災等事故	3		967,692	
稼働中の事故	245		34,623,990	
自然災害事故	5		6,798,335	
計	253	13,386,340	42,390,017	0.32

(7) 受託事業 農業経営収入保険事業関係
(加入)

	経営体数	基準収入金額	保 険 金 額	積 立 金	加 入 者 負 担		平均基準 収入金額	備 考
					保 険 料	積 立 金		
	経営体	円	円	円	円	円	円	
個 人	945	11,233,170,625	8,046,082,403	990,420,571	90,528,157	247,605,481	11,886,953	
法 人	235	9,292,539,933	6,687,691,259	828,554,223	72,817,850	207,138,647	39,542,723	
合 計	1,180	20,525,710,558	14,733,773,662	1,818,974,794	163,346,007	454,744,128	17,394,670	

(支払)

	保険金等 支払経営体数	保 険 金	特約補填金	合 計
	経営体	円	円	円
個 人	40	30,983,781	25,686,097	56,669,878
法 人	2	10,757,256	12,326,891	23,084,147
合 計	42	41,741,037	38,012,988	79,754,025

注) 支払は前年度加入のものである。

(8) 業務関係

① 重要な処理事項

年 . 月 . 日	処 理 事 項
7. 4. 11	第1回任意共済事業推進担当者会議(リモート)
17 ~ 18	北信五県特定組合長会議・参事会議(長野県)
18	経営所得安定対策等に係る事務担当者会議(リモート)
23	全国広報参事等会議(リモート)
23	農業保険に関する会議(リモート)
24	表彰審査会(本所)
25	事務費賦課承認事前ヒアリング(県庁)
4. 30 ~ 5.2	公認会計士監査(本所)
5. 8	第1回余裕金運用管理委員会(本所)
8	第1回理事会(本所)
12 ~ 16	第1回広報技術研修会(全国共済協会)
13	第1回監事会(本所)
13 ~ 14	組合決算監査(本所)
16	農業経営収入保険事業初任者研修会(リモート)
16	農業経営収入保険事業初任者管理職研修会(リモート)
16	農業保険システムWeb化開発状況説明会(リモート)
26 ~ 30	中間指導職養成研修会(全国共済協会)
27	第1回石川県農業保険普及推進協議会(本所)
27	第1回石川県収入保険推進協議会通常総会(本所)
31	第2回理事会(本所)
31	第20回通常総代会(本所)
6. 4 ~ 5	北信五県収入保険担当者会議(富山県)
11 ~ 12	北信五県農作物共済・損害防止事業担当者会議(富山県)
11 ~ 12	北信五県畑作物共済担当者会議(富山県)
16 ~ 20	第1回普及推進研修会(全国共済協会)
18 ~ 19	北信五県家畜共済担当者会議(富山県)
25	第1回全国特定組合長会議・会長会議(全国共済協会)
25	全国農業共済協会第151回通常総会(全国共済協会)
25	全国農業共済組合連合会第31回通常総会(全国共済協会)
25 ~ 26	北信五県果樹共済担当者会議(富山県)
25 ~ 26	北信五県園芸施設共済担当者会議(富山県)
26 ~ 27	農林水産省主催家畜共済研修会(リモート)
30	eMAFFに関するweb会議(リモート)
7. 1 ~ 4	第1回管理職研修会(全国共済協会)
4	経営所得安定対策に係る事務担当者会議(リモート)
9	第1回全国参事会議(全国共済協会)
10	北信五県参事会議(全国共済協会)

年 . 月 . 日	処 理 事 項
7. 7. 10 ~ 11	北信五県任意共済担当者会議(富山県)
10 ~ 11	コンプライアンス・ハラスメント研修会(本所)
15	NOSAI専務・常務会議(全国共済協会)
15	農林水産省主催果樹共済研修会(リモート)
18	臨時職員採用試験(本所)
22	情報化全国会議(全国共済協会)
7. 28 ~ 8.8	第1回管理職養成研修会(全国共済協会)
29	第2回任意共済事業推進担当者会議(全国共済協会)
8. 6	組合運営状況に関するヒアリング(リモート)
22	全国農業共済協会第152回臨時総会(書面議決)
8. 25 ~ 29	建物共済損害評価技術研修会(千葉県)
27	「未来へつなぐ」サポート運動全国推進会議(リモート)
9. 1	表彰審査会(本所)
3	第2回全国特定組合長・会長会議(全国共済協会)
5	農業共済新聞の普及に係るテレビ会議(リモート)
8 ~ 10	第1回幹部職員研修会
10 ~ 11	北信五県総務・経理担当者会議(富山県)
10 ~ 11	北信五県内部監査担当者会議(富山県)
17 ~ 18	北信五県運動推進・広報担当者会議(富山県)
17 ~ 18	北信五県事務機械化担当者会議(富山県)
19	第1回収入保険Web会議(リモート)
25 ~ 26	農業経営収入保険事業初任者研修会(全国共済協会)
29	第2回余裕金運用管理委員会(本所)
29	第3回理事会(本所)
30	職員採用試験(本所 一次面接)
30 ~ 10.3	第2回管理職養成研修会(全国共済協会)
10. 6	職員採用試験(本所 最終面接)
8	第2回全国参事会議(全国共済協会)
9	北信五県参事会議(全国共済協会)
9	経営所得安定対策等に係る事務担当者会議(リモート)
20 ~ 31	第2回管理職養成研修会(全国共済協会)
22 ~ 24	公認会計士監査(本所)
23	第50回任意共済全国研修会
30	収入保険実務担当者Web研修会(リモート)
11. 7	農林水産省主催園芸施設共済研修会(リモート)
7	農林水産省主催法令等研修会(リモート)
7	県常例検査(奥能登支所)
10 ~ 12	第2回幹部職員研修会(全国共済協会)
12	第2回監事会(本所)
12 ~ 13	組合中間監査(本所)

年 . 月 . 日	処 理 事 項
7. 11. 18 ~ 19	家畜診療等技術北信・東海地区発表会及び研修会(石川県)
21	全国研修会事前web会議(リモート)
25	県常例検査(奥能登支所)
25	損害評価会農作物共済部会(本所)
26	災害に備えた強い施設園芸推進会議(広坂合同庁舎)
26 ~ 27	全国NOSAI大会、予算要請(東京都)
12. 5	農林水産省主催経理研修会(リモート)
11	損害評価会果樹共済部会(本所)
12	第3回余裕金運用管理委員会(本所)
12	第4回理事会(本所)
15	第1回事務機械化関係事業運営検討会(リモート)
26	第3回全国特定組合長・会長会議(リモート)
8. 1. 8	県常例検査(本所)
14	ゲタ対策単価改定等に関するブロック説明会(リモート)
19 ~ 30	第3回管理職養成研修会(全国共済協会)
21	第2回収入保険担当者会議(リモート)
21	家畜共済事業に係る全国説明会(リモート)
22	経営所得安定対策等に係る事務担当者会議(リモート)
23	事業推進会議及び管理職会議(リモート)
26 ~ 27	県常例検査(本所)
29	損害評価会果樹共済部会(本所)
29	第5回理事会(本所)
29	役員・管理職員研修会(本所)
29	事業運営協議会(金沢市)
30	県常例検査講評(リモート)
2. 4 ~ 5	北信五県事業運営検討会議(富山県)
6	都道府県農業保険制度関係担当者会議(リモート)
6	農業共済組合等総務・指導担当者会議(リモート)
9	第2回事務機械化関係事業運営検討会(リモート)
13	農業経営収入保険事業審査担当職員研修会(全国共済協会)
18	農林水産省主催農作物・畑作物共済研修会(リモート)
18	第3回全国参事会議(全国共済協会)
19	農業共済新聞全国研修集会(東京都)
20	北信五県参事会議(全国共済協会)
20	全国広報委員会議(東京都)
3. 9	コンプライアンス改善委員会(本所)
10 ~ 13	第3回管理職研修会(全国共済協会)
18	損害評価会建物共済部会(本所)
18	損害評価会農機具共済部会(本所)

年 . 月 . 日	処 理 事 項
8. 3. 19	第3回任意共済事業推進担当者会議(リモート)
23	損害評価会農作物共済部会(本所)
23	損害評価会畑作物共済部会(本所)
24	損害評価会家畜共済部会(本所)
24	損害評価会園芸施設共済部会(本所)
27	教育研修基金運用委員会(本所)
27	第4回余裕金運用管理委員会(本所)
27	第6回理事会(本所)

② 総代会

(1) 通常総代会 令和7年5月31日

総代の数	104 人
本人出席	43 人 (41.3 %)
代理出席	- 人 (-)
書面出席	60 人 (57.7 %)
出席者計	103 人 (99.0 %)

重要な議事及び議決事項

議案第 1 号 事業規程の一部変更議決の件

議案第 2 号 令和6年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書
剰余金処分案及び不足金処理案承認の件

議案第 3 号 令和7年度事業予定計画書及び収支予算書議決の件

議案第 4 号 令和7年度事務費賦課金徴収額及び徴収方法議決の件

議案第 5 号 役員、顧問弁護士、損害評価会委員及び共済部長報酬議決の件

議案第 6 号 借入金最高限度額及び借入条件議決の件

議案第 7 号 特別積立金取り崩し限度額議決の件

議案第 8 号 余裕金預入先議決の件

議案第 9 号 危険段階別共済掛金率設定議決の件

議案第 10 号 職員給与規則の一部改正承認の件

③ 組合員の増減

年度始組合員数	年度末組合員数	増 減
7,030 人	6,614 人	△ 416 人

④ 役職員その他

役 員				
常勤理事	非常勤理事	理 事 計	監 事	合 計
1 人	13 人	14 人	3 人	17 人

総 代	共済部長	損害評価員
103 人	1,626 人	1,575 人

損害評価会委員								
水 稻	麦	家 畜	果 樹	畑 作 物	園芸施設	建 物	農 機 具	合 計
共済部会	共済部会	共済部会	共済部会	共済部会	共済部会	共済部会	共済部会	
67 人	23 人 (23)	5 人 (1)	16 人	20 人 (18)	3 人 (1)	3 人 (1)	3 人 (1)	140 人 (実 96)

() は兼務

職 員 数	区分 性別	参 事	監理室	総務部	事業部
	男	1 人	1 人	8 人	(1) 12 人
	女	0 人	0 人	(2) 4 人	4 人
	計	1 人	1 人	(2) 12 人	(1) 16 人
	区分 性別	診療所	事業推進部		合 計
	男	(4) 4 人	33 人		(5) 59 人
	女	0 人	6 人		(2) 14 人
	計	(4) 4 人	39 人		(7) 73 人

() は兼務